

めざそう！人口5000人をキープ！

10年後も
いちまん ひとみ
10000の瞳

御牧の郷だより

御牧ふれあいの郷づくり協議会 編集 広報部 平成30年7月 第16号

市民交流サロン
OPEN まつり開催！

6/24（日）北御牧庁舎市民交流サロンに
みんなの笑顔があふれました。



まつり直前、集合写真におさまる出店者と運営委員「さあ！楽しも〜」

北御牧の人の動き

総人口	4,849人 (+3)		
男	2,400人	女	2,449人
転入	28人	転出	25人
出生	5人	死亡	5人

6月30日現在（ ）内は4月末対比

目次 Index

P1-2 サロン OPEN! まつり開催！

次のページへ

P3 地域ビジョン シリーズ地域ビジョンに思う②

P4 天空の芸術祭 / 知恵蔵の時間②

市民交流サロン OPEN まつり開催!

大勢のご来場! 感謝!

東御市内はもとより、佐久、上田からも
150名を超えるご来場をいただきました。
ありがとうございました。今後もどうぞ期待!



「市の施設を交流サロンとして市民に運営管理を委託するのはまだ全国でも珍しい取り組み」と花岡市長から熱いエールを頂戴しました。



おっ うまくいきましたね



北御牧公民館生涯学習講座「愛唱歌をうたう」

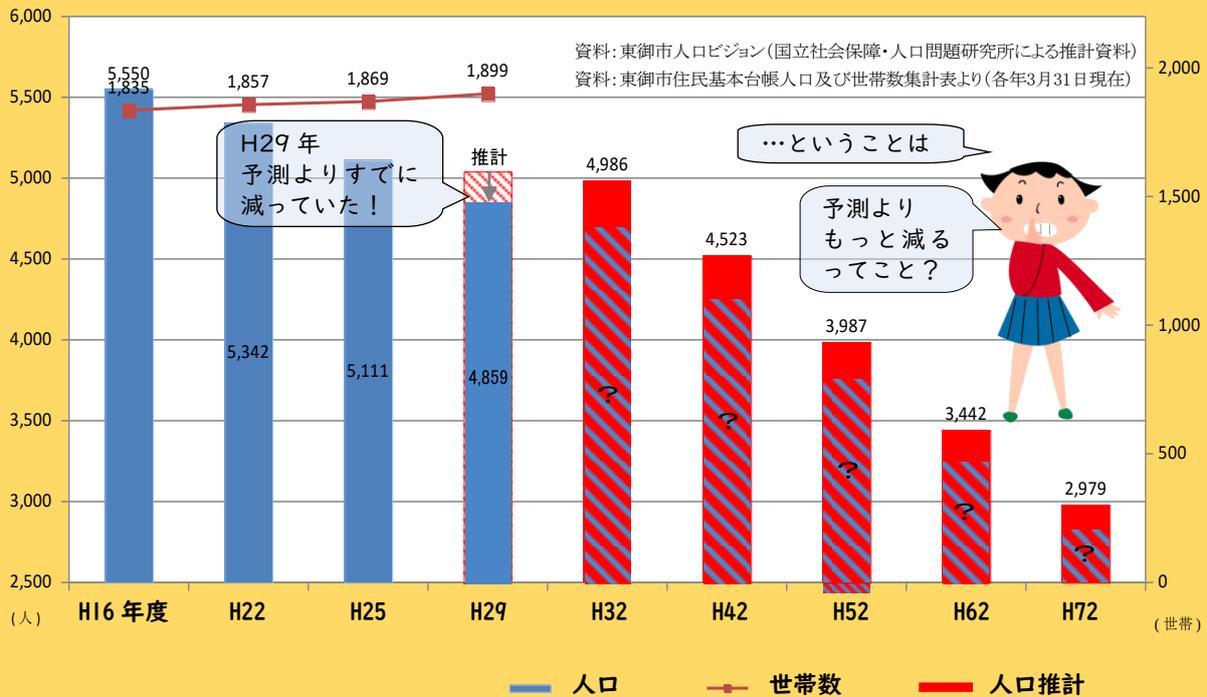


持ち寄りビンゴ大会

ご協力いただいた出店者のみなさん

テールマウンテン 八重原米 味の研究会 まる屋 ほたるの湯 キーンハーベスト わざわざ 岩井屋
てずくな (宮坂) ケアポートみまき フェイスペインティング (小池・古川) フリーマーケット“メリハリ” (村上)
健康チェック
野菜や果物など地元生産物の直売 (掛川久善・井出容子・水科勝吉・中村一夫)

北御牧地区の人口・世帯数の推移 および将来の人口推計



今回はこのグラフです。前回の「危険な棺桶型人口ピラミッド」のもたらす未来が見えます。推計が行われたのが H27 年ですが、その 2 年後(H29)にはすでに推計よりも下回っていたようです。…ということは、数は出ていませんが、その後だって推計より下回ることが容易に想像できます(グラフ中?付きの斜線の柱は広報部で付け加えたものです)。

何故ここまで減るのか?原因は明らか—「若者と子どもが少ない」ことです。

つまり、大事なものは合計の数字ではなく、その中身だということです。赤ちゃんからお年寄りまで各世代がバランスよく揃っていないと、結局は「減る」しかなくなるわけです。いっただうしたら若者と子どもを増やすことができるのか…ぜひ皆さんも一緒に考えてみてください。



シリーズ 地域ビジョンに思う②

リレー放談

初めに言っておきますが、これは決して宣伝ではありません。

御牧原で唯一の宿「御牧原てらす」です。最大5人しか泊まれない小さな宿ですが、開業して3年、お泊まりいただいたお客様はもうすぐ500人になります。初めは知り合いに頼っていた集客も、最近はインターネットや口コミで徐々に広がり、まったく見ず知らずの方からの問い合わせも多くなりました。なんと来週はマレーシアから!リピーターも多く、ちょっと予約しにくい宿になりつつあるかもです(笑)。

僕が言いたいのは、いらっしゃるお客様のほとんどが「東御市」ましてや「御牧原」を知らなかった方でありながら、ここで一日を過ごした後は、ほとんど例外なく「なんて素敵なおとこなんだ」「癒された」「もう一度来たい」と言って帰っていかれるということなんです。宿の料理や設え、おもてなし…も悪くないのですが、それにもまして、この御牧原の「空」と「大地」そして「水」と「空気」と「食べ物」にやられてしまうようなんです(特に都会の人)。お泊まりがきっかけでここに移住したくなった方も、実際移住してしまう人もいました。目下住む場所(土地や家)がないことが最大の悩みではありますが…。

観光地じゃないけどウケる、何にもないのにウケる。暮らしても(まだ)毎日ウケているんだから…こんな魅力的な御牧原(北御牧、東御)をもっと多くの人に知らせたら、たくさん人がやってきて、にぎやかな地域になりそうだなあ。これどこかで聞いた話だぞと思ったら、そうだ、地域ビジョンがあるじゃないか。ここだってまんざらでもないぞと少し安心しました。

北部 小池 淳

今年の芸術祭も少しずつ概要が決まってきました。

昨年から北欧はフィンランドからアーティストを招き、北御牧に滞在してもらって地元みなさんと交流したり制作活動をする試みがはじまっています。昨年のテュイア・テスカさんに続き、今年はヴェニ・アールバーグさんに来ていただくことになりました。

ヴェニさんは、フィンランド北部のロバニエミにという場所に住んでおり大学で学生に写真について教えながら、自身の作品も作っています。そして今回の滞在制作ではカメラ・オブスクラと呼ばれる原始的な写真の装置を用いて制作を行う予定です。

ヴェニさんよりみなさんへメッセージいただきましたので掲載致します。

こんにちは、ヴェニ・アールバーグです。

今回、日本に行く機会が得られたことをとてもうれしく思っています。滞在制作中、もしどこかで私を見かけたらハロー!と声をかけてください。私は日本文化や、日本で暮らすみなさんが普段何気なくやっている全てのことにとても興味があります。ぜひ、みなさんのお話をきかせてください。

日本でみなさんに会えることをとても楽しみにしています。



// 開催概要 //

日時

2018年10月13日(土)
—2018年10月28日(日)

会場(予定)

旧稚蚕飼育所
ほか野外作品 など

事務局

天空の芸術祭事務局
東御市大日向337
北御牧庁舎内1F
TEL:0268-67-1010

第2回 知恵蔵の時間

6月24日(日) @まる屋

小林 敬子さん

「運命の出会いの地 北御牧」



都内の郵便局員だった若かりし頃、偶然の連続から、北御牧の大自然とバイタリティ溢れる男性と出会い、この地で生きることを決意した。

その後、様々な苦労の運命にたくさんの涙を流しながらも「自分で選んだ道なのだから」「子どもたちが見ているから」そんな思いで乗り越えてきた。

そして今、恨みも愚痴も受け止めて生きる。どんなにどん底であっても、受け止め方ひとつで幸せになれる。私の中に”石橋をたたいて渡る“なんて言葉は微塵もない。落ちたら何度でも這い上がればいい。これからも「ご縁」と「出会い」を大切にして、地域の中でできることを完全燃焼して生き抜きたい。

敬子さんの人生談は、圧倒される力強さで、
生きる励ましに溢れた時間でした。

// 次回以降予定 ※時間はいずれも14~16時 @まる屋(芸術むら公園内)

第3回 7月22日(日) 水科勝吉さん(御牧原) 「オウム真理教入村阻止の闘いを振り返る」

第4回 8月19日(日) 角りわ子さん(下八重原) 「八重原の粘土で焼く器で表現したいこと」

第5回 9月 9日(日) 関 和一さん(中八重原) 「昭和の八重原の農業」